

アンケート調査結果報告書 (障がい者) について

- ▶ 調査期間：令和 8 (2026) 年 5 ～ 6 月
- ▶ 有効回答数：531 件
- ▶ 回答率：53.1% (50.1%)

※ () は令和 5 年第 7 期富田林市障がい福祉計画第 3 期
富田林市障がい児福祉計画アンケート数値

調査結果①

日常生活の支援ニーズが多岐にわたる

- ▶ 介助や支援が必要 65.9%
 - ▶ いつも必要 24.3%
 - ▶ 場合によって必要 41.6%

支援が必要な場面

- ▶ 家事 67.4%
- ▶ 買い物 63.7%
- ▶ お金の管理 63.4%
- ▶ 交通手段の利用 59.7%
- ▶ 薬の管理 58.6%
- ▶ 外出 58.3%

【ポイント】

- ▶ 支援ニーズは日常生活全体に広がっている。

調査結果②

家族による支援に大きく支えられている

- ▶ 介助者がいる 81.4% (68.0%)
- ▶ 主な介助者は「父・母」 62.5%

急病などで介助できない場合

- ▶ 同居の家族が介助する 50.9%
- ▶ 同居していない家族や親戚が介助する 22.8%

【ポイント】

- ▶ 家族が担っている支援が大きく、家族が対応できない場面の支援体制の整備が必要

調査結果③

地域生活を支える支援

住み慣れた地域で生活するために必要な支援

- ▶ 経済的な負担の軽減 54.8% (54.2%)
- ▶ 必要な障がい福祉サービスの利用 51.0% (49.0%)
- ▶ 同居する家族等への支援 41.1% (38.5%)
- ▶ 家族の急病や用事の時など緊急時に利用できる施設 39.0% (41.4%)
- ▶ 障がい者に適した住まいの確保 37.9% (37.7%)

【ポイント】

- ▶ サービス利用に加え、経済的支援・家族支援・住まい・緊急時対応を一体で考える必要がある。

調査結果④

外出・移動の困りごと

- ▶ ほぼ毎日外出する 55.9%

外出目的：

- ▶ 買い物 66.1%
- ▶ 通勤・通学・通所 64.7%
- ▶ 受診 62.2%

困りごと

- ▶ 交通手段が不便 28.1% (33.2%)
- ▶ 外出費用 26.3% (26.2%)
- ▶ コミュニケーション 19.9% (27.8%)

【ポイント】

- ▶ 外出・移動支援は生活支援の基盤。

調査結果⑤

就労・進路の支援

- ▶ 現在働いている人 40.7% (49.9%)
- ▶ (働いていない人) 収入を得る仕事をしたい 43.6%
- ▶ 卒業後の進路が不安 66.0%
- ▶ (通園・通学・通所者)

働くために必要な支援は？

- ▶ 職場探し 56.3% (53.4%)
- ▶ 障がい理解 50.3% (55.5%)
- ▶ 通勤手段 39.9% (36.4%)

【ポイント】

- ▶ 働く場と続ける環境づくりが必要。
- ▶ 未就労であっても収入を得る仕事を希望している者が一定数存在。

市が今後力を入れるべき施策

- ▶ ①世話をしてくれる人の負担を軽減するための補助金等の支援 45.2%
- ▶ ②受給できる年金や手当等の情報入手 41.2%
- ▶ ③必要なサービスが利用できるようサービス事業所を整備 33.9%
- ▶ ④利用しやすい公共交通機関の改善・整備 33.9%
- ▶ ⑤福祉・保健・医療体制を整備 33.3%
- ▶ ⑥障がいのある人への理解啓発 32.6%

【ポイント】

- ▶ 家族支援、経済的支援、サービス基盤、移動環境、相談・情報提供を総合的に連携させる必要がある。